



2023年5月22日

各 位

会 社 名 日本プラスチック株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 永野 博久
(コード番号 7291 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 経営企画本部長 青木 智彦
(TEL. 0544-58-9080)

特別損失の計上及び通期連結業績予想数値と実績値の差異 並びに通期個別実績値と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)において、特別損失を計上しましたので、下記の通りお知らせいたします。

併せて、2023年2月10日付「通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正並びに役員賞与不支給に関するお知らせ」にて公表しました、2023年3月期の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、個別実績値について、2022年3月期の個別実績値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 連結決算

当社は、市場環境悪化に伴い、収益性が低下したことから、固定資産の一部回収が困難と判断したため、減損損失545百万円を特別損失に計上しました。

場所	用途	種類	減損損失
本社（静岡県富士宮市）等	共用資産	機械装置及び運搬具、リース資産、工具、器具及び備品等	275百万円
富士工場（静岡県富士宮市）	事業用資産	機械装置及び運搬具、建設仮勘定、工具、器具及び備品等	270百万円

また、製品保証引当金繰入額1,570百万円等を特別損失に計上いたしました。

(2) 個別決算

当社は、市場環境悪化に伴い、収益性が低下したことから、固定資産の一部回収が困難と判断したため、減損損失545百万円を特別損失に計上しました。

場所	用途	種類	減損損失
本社（静岡県富士宮市）等	共用資産	機械及び装置、リース資産、工具、器具及び備品等	275百万円
富士工場（静岡県富士宮市）	事業用資産	機械及び装置、建設仮勘定、工具、器具及び備品等	270百万円

また、製品保証引当金繰入額1,570百万円、当社が保有する関係会社株式のうち、東南アジアの連結子会社の純資産が低下していることから、関係会社株式評価損813百万円等を特別損失に計上しました。

なお、関係会社株式評価損は、連結決算においては消去されるため、連結損益への影響はありません。

2. 2023年3月期 通期連結業績予想数値と実績値の差異

(1) 2023年3月期 通期連結業績予想数値と実績値の差異 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 102,600	百万円 △ 1,000	百万円 △ 1,000	百万円 △ 2,130	円銭 △111.41
実績値 (B)	103,359	△966	△749	△3,602	△188.35
増減額 (B - A)	759	33	250	△1,472	—
増減率 (%)	0.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	86,504	△ 722	△ 289	△ 8,018	△ 419.41

(2) 差異の理由

売上高、営業利益につきましては、概ね前回発表予想通りとなりました。経常利益につきましては為替差益及び補助金収入の計上等により増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失(減損損失、製品保証引当金繰入額等)の計上等により減益となりました。

3. 2023年3月期 通期個別実績値と前期実績値との差異

(1) 2023年3月期 通期個別実績値と前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円 33,112	百万円 △ 1,930	百万円 530	百万円 △ 6,195	円銭 △ 323.70
当期実績 (B)	42,636	△211	1,402	△2,041	△106.61
増減額 (B - A)	9,524	1,719	872	4,154	—
増減率 (%)	28.8	—	164.4	—	—

(2) 差異の理由

売上高につきましては、半導体不足に起因する得意先減産及び新型コロナウイルスの感染拡大影響等が緩和され、増収となりました。営業利益及び経常利益につきましては、増収影響により増益となりました。当期純利益につきましては、固定資産の減損損失の減少に加え、税効果会計における繰延税金資産の取り崩しに伴う法人税等調整額(損)の減少により増益となりました。

以上